

令和6年上半期における交通死亡事故の発生状況

令和6年7月25日
警察庁 交通局

【概況】

交通事故死者数の推移

- ・ 死者数は1,182人で、前年同期比1人、0.1%増
- ・ 65歳以上の死者数は650人で、前年同期比4人、0.6%増

〔特徴〕

- ・ 状態別死者数は全年齢で、「歩行中」は増加、「自動車乗車中」、「二輪車乗車中」、「自転車乗用中」は減少
- ・ 状態別死者数は、全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最多、小学生は「歩行中」、「自転車乗用中」がそれぞれ半数

令和6年上半期の交通事故発生状況

○ 歩行者

- ・ 歩行中死者数は3年連続の増加となり、昼夜別でみると「夜間」が増加
- ・ 夜間は、65歳未満は「横断歩道以外横断中」と「路上横臥」が多く、65歳以上は「横断歩道以外横断中」が多い

○ 自転車

- ・ 自転車乗用中死者数は減少傾向にあるが、法令違反ありの構成率は約7割から8割で高止まり
- ・ 交差点の事故が多く、法令違反は「信号無視」が約2割、「指定場所一時不停止等」、「優先通行妨害等」が約1割
- ・ 飲酒自転車関連死亡・重傷事故は減少
- ・ 携帯電話等使用自転車関連死亡・重傷事故は近年増加傾向にあり、前年同期比で約2.3倍に増加

○ 高齢運転者

- ・ 75歳以上高齢運転者による死亡事故は減少
- ・ 75歳以上高齢運転者は「操作不適」が多く、ブレーキとアクセルの踏み違いは前年同期比で約2.9倍に増加

○ 飲酒運転・携帯電話等使用運転（自動車）

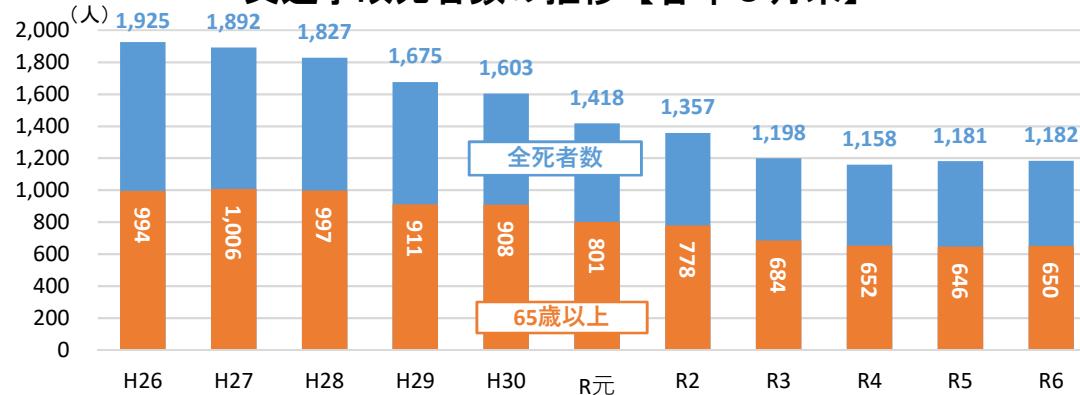
- ・ 飲酒死亡事故は減少傾向にあるが、飲酒重傷事故は、近年はほぼ横ばいで推移
- ・ 携帯電話等使用事故は近年増加傾向

(注)・ 本資料は、令和6年7月17日までに入手したデータにより作成したものである。
・ 数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。
・ 令和6年の重傷者数は暫定値である。

1 交通事故死者数の推移

- 死者数は1,182人で、前年同期比1人、0.1%増
- 65歳以上の死者数は650人で、前年同期比4人、0.6%増

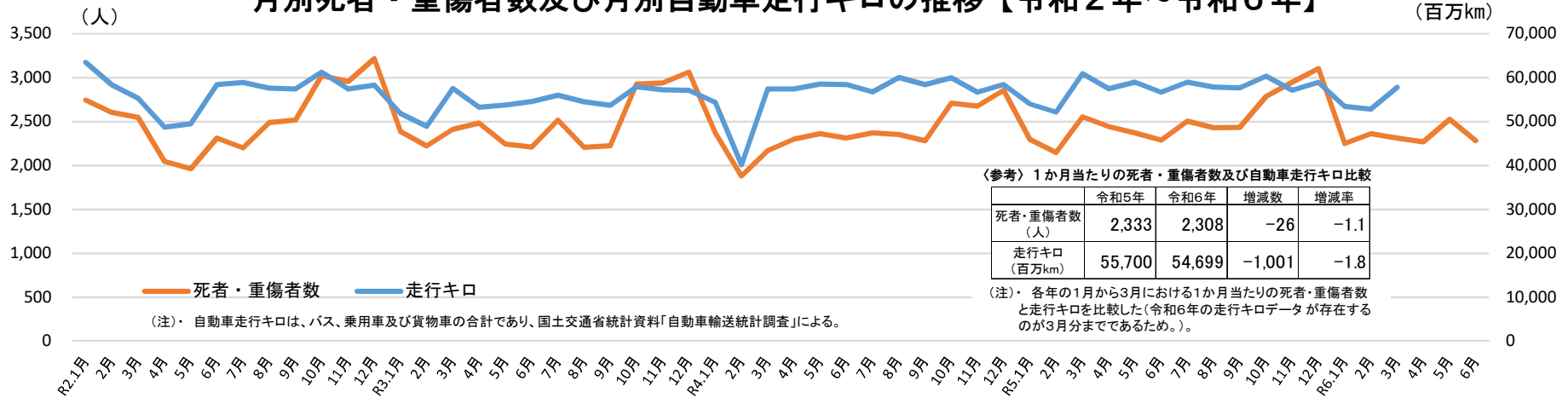
交通事故死者数の推移【各年6月末】



高齢者の割合	51.6%	53.2%	54.6%	54.4%	56.6%	56.5%	57.3%	57.1%	56.3%	54.7%	55.0%
高齢者の人口 (千人)	32,999	33,866	34,590	35,151	35,580	35,884	36,027	36,213	36,236	36,224	—
全人口に占める高齢者の割合	26.0%	26.6%	27.3%	27.7%	28.1%	28.4%	28.6%	28.9%	29.0%	29.1%	—

(注)・人口は、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在人口(補間補正を行っていないもの。ただし、国勢調査実施年は国勢調査人口(不詳補完値)による。))による。以下同じ。

月別死者・重傷者数及び月別自動車走行キロの推移【令和2年～令和6年】



【参考】1か月当たりの死者・重傷者数及び自動車走行キロ比較

	令和5年	令和6年	増減数	増減率
死者・重傷者数 (人)	2,333	2,308	-26	-1.1
走行キロ (百万km)	55,700	54,699	-1,001	-1.8

(注)・各年の1月から3月における1か月当たりの死者・重傷者数と走行キロを比較した(令和6年の走行キロデータが存在するのが3月分までであるため。)

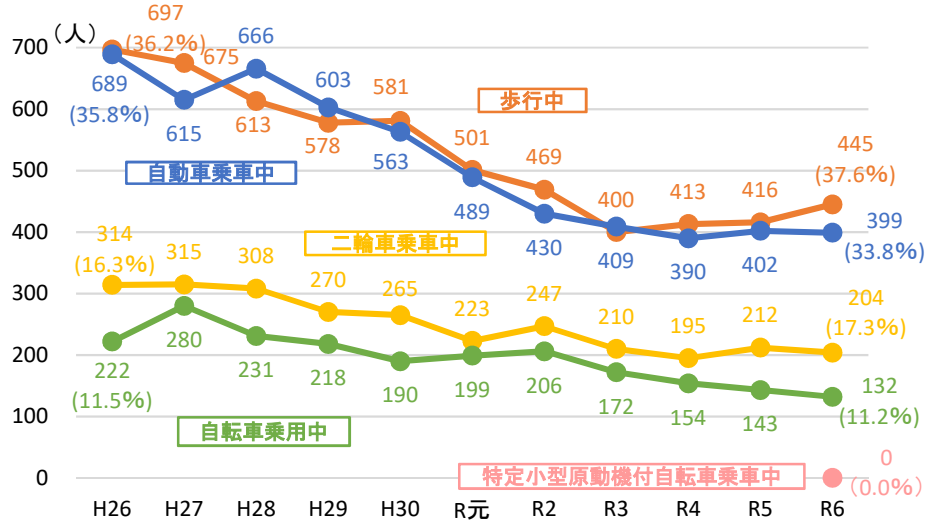
(注)・自動車走行キロは、バス、乗用車及び貨物車の合計であり、国土交通省統計資料「自動車輸送統計調査」による。

	R2.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1月	2月	3月	4月	5月	6月			
死者・重傷者数	2,743	2,604	2,547	2,045	1,961	2,311	2,200	2,489	2,517	3,025	2,956	3,216	2,387	2,221	2,413	2,483	2,244	2,211	2,517	2,208	2,225	2,927	2,941	3,063	2,370	1,880	2,170	2,299	2,361	2,312	2,371	2,352	2,280	2,711	2,675	2,856	2,298	2,148	2,554	2,444	2,373	2,288	2,504	2,429	2,435	2,788	2,950	3,103	2,249	2,362	2,312	2,270	2,527	2,283			
走行キロ	63,485	58,348	55,314	48,720	49,495	58,408	58,896	57,626	57,407	61,295	57,401	58,286	51,812	48,928	57,582	53,249	53,744	54,581	55,997	54,482	53,721	57,899	57,235	57,121	54,395	40,126	57,445	57,429	58,566	58,410	56,721	60,060	58,443	59,978	56,703	58,448	53,995	52,167	60,938	57,469	58,963	56,678	59,003	57,846	57,691	60,351	57,092	58,915	53,429	52,861	57,806						

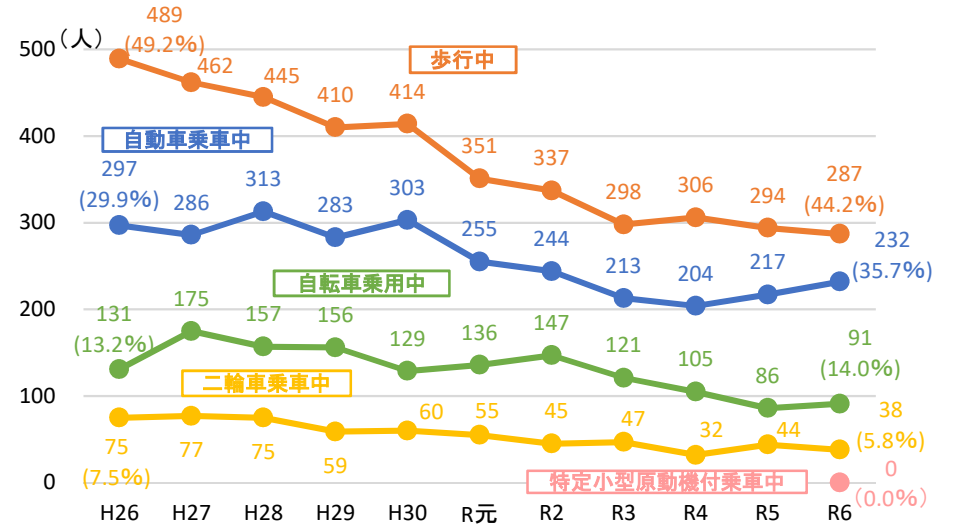
2 状態別交通事故死者数の推移

- 状態別死者数は全年齢で、「歩行中」は増加、「自動車乗車中」、「二輪車乗車中」、「自転車乗用中」は減少
- 状態別死者数は、全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最多、小学生は「歩行中」、「自転車乗用中」がそれぞれ半数

状態別死者数の推移（全年齢）【各年6月末】

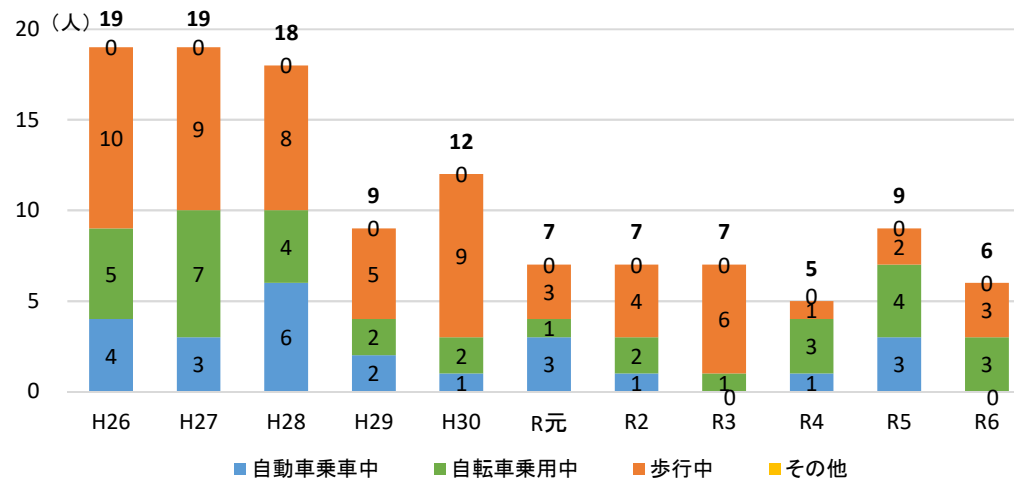


状態別死者数の推移（65歳以上）【各年6月末】



(注) ・()内は、全死者数に占める構成率
 ・「二輪車」は、自動二輪車及び一般原動機付自転車という。

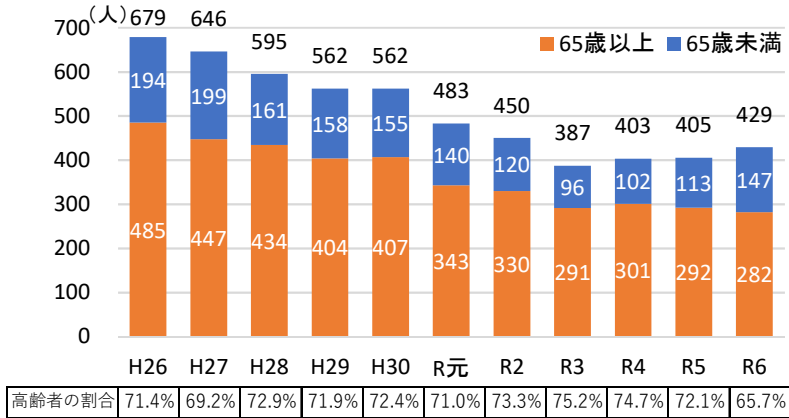
状態別死者数の推移（小学生）【各年6月末】



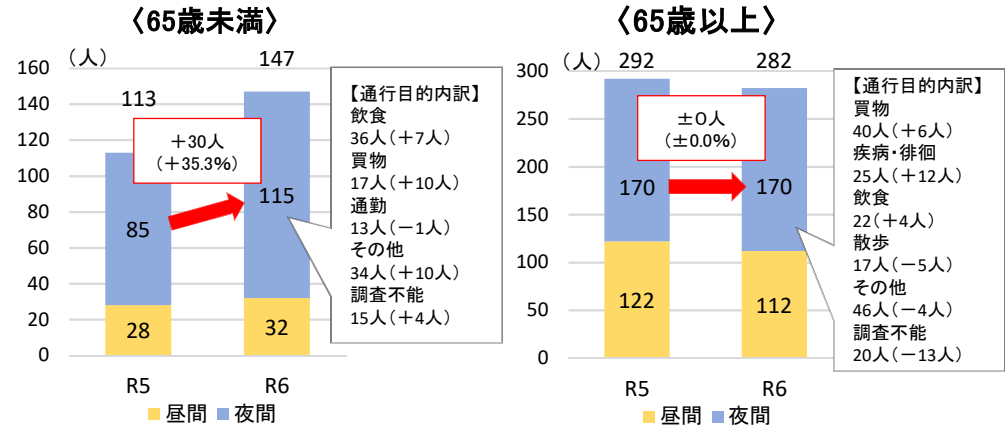
3 歩行中死者の状況

- 歩行中死者数は3年連続の増加となり、昼夜別でみると「夜間」が増加
- 夜間は、65歳未満は「路上横臥」と「横断歩道以外横断中」が多く、65歳以上は「横断歩道以外横断中」が多い

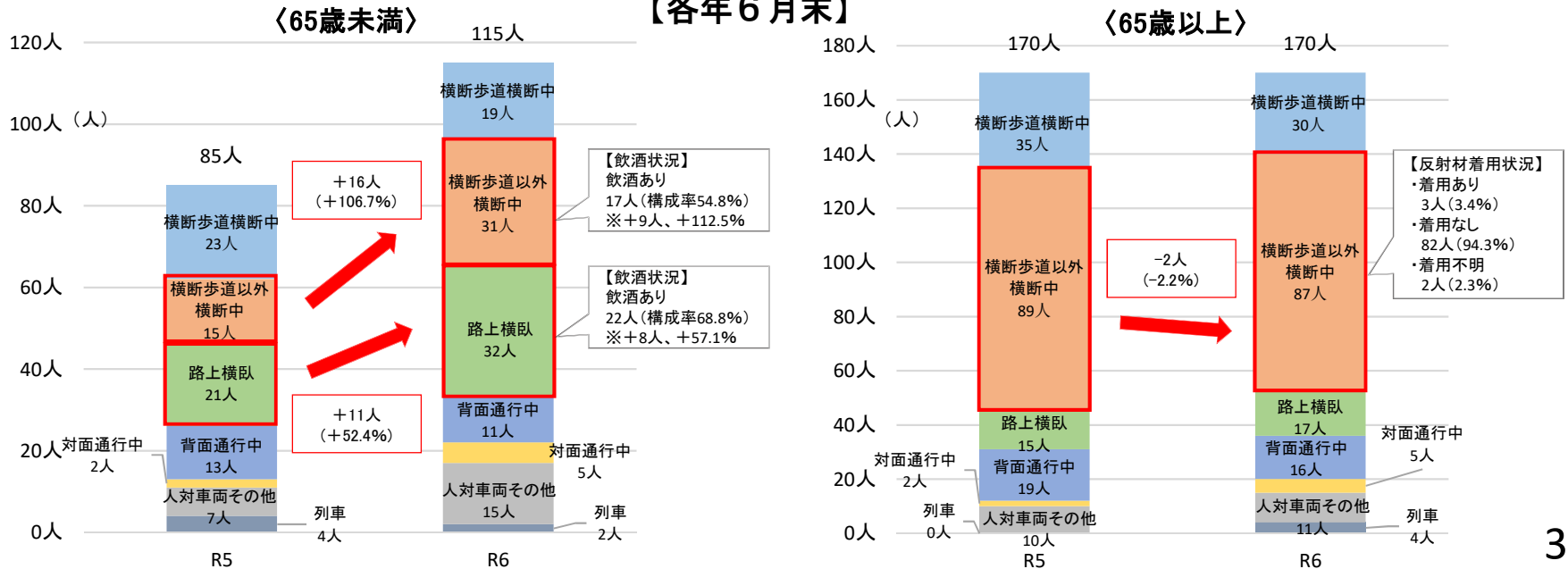
年齢層別歩行中死者数の推移（第1・第2当事者）
【各年6月末】



昼夜別歩行中死者数比較（第1・第2当事者）
【各年6月末】



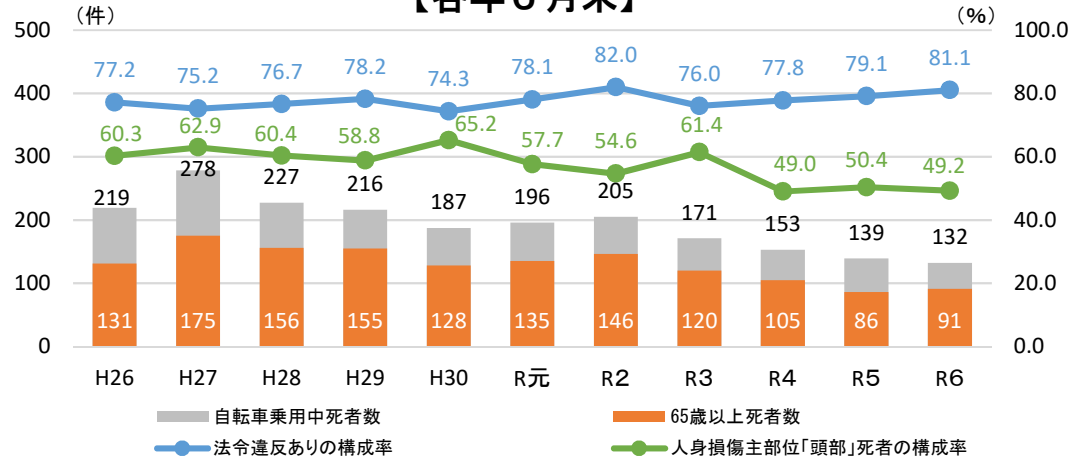
夜間における年齢層別事故類型別歩行中死者数比較（第1・第2当事者）
【各年6月末】



4 自転車関連交通事故の状況

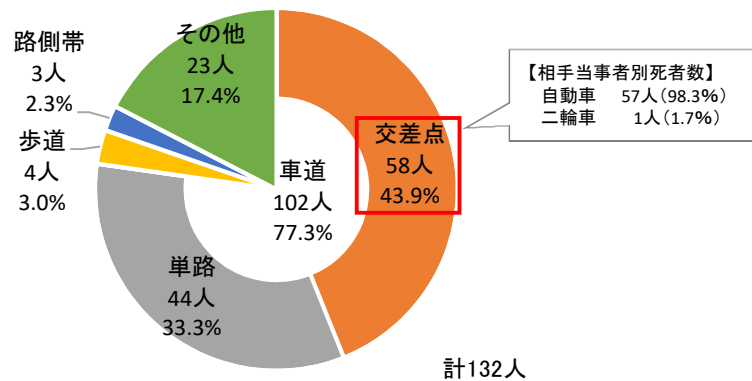
- 自転車乗用中死者数は減少傾向にあるが、法令違反ありの構成率は約7割から8割で高止まり
- 交差点の事故が多く、法令違反は「信号無視」が約2割、「指定場所一時不停止等」、「優先通行妨害等」が約1割

自転車乗用中死者数（第1・第2当事者）の推移
【各年6月末】

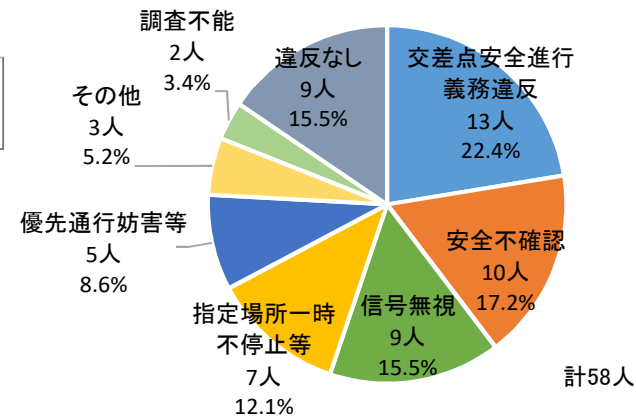


法令違反あり死者数	169	209	174	169	139	153	168	130	119	110	107
人身損傷主部位「頭部」死者数	132	175	137	127	122	113	112	105	75	70	65

衝突地点別自転車乗用中死者数
（第1・第2当事者）
【6月末】



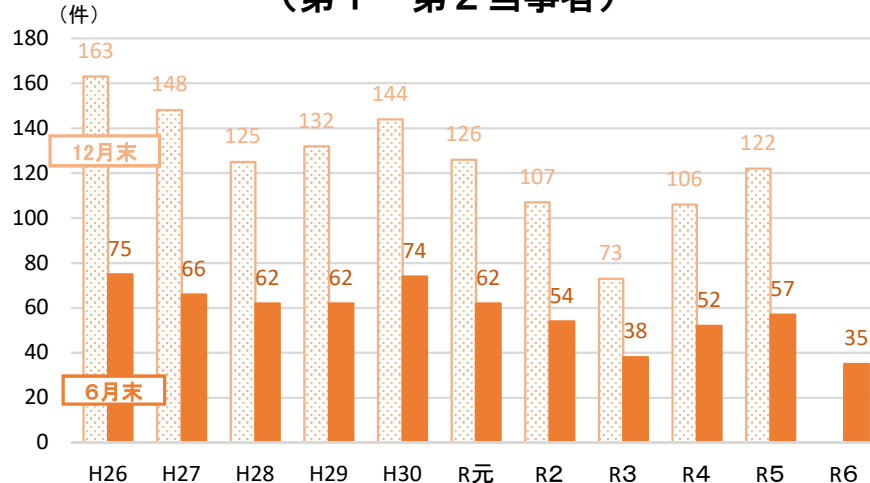
交差点における法令違反別自転車乗用中死者数
（第1・第2当事者）
【6月末】



4-2 自転車関連交通事故の状況

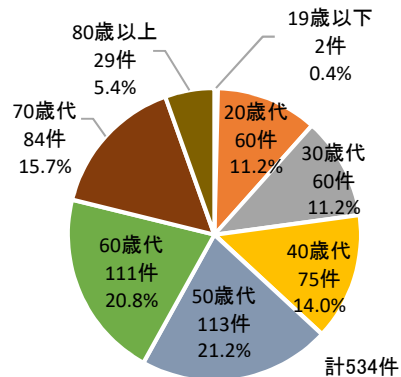
- 飲酒自転車関連死亡・重傷事故は減少
- 携帯電話等使用自転車関連死亡・重傷事故は近年増加傾向にあり、前年同期比で約2.3倍に増加

飲酒自転車関連死亡・重傷事故件数の推移 (第1・第2当事者)



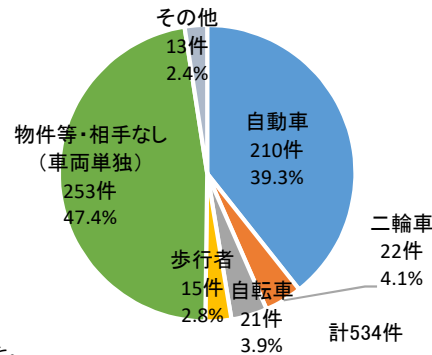
(注)・自転車が第1又は第2当事者となった事故のうち、自転車運転者が飲酒運転であった事故を集計したものであり、飲酒運転の自転車同士の事故は1件として計上した。

〈参考〉 年齢層別飲酒自転車関連 死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】

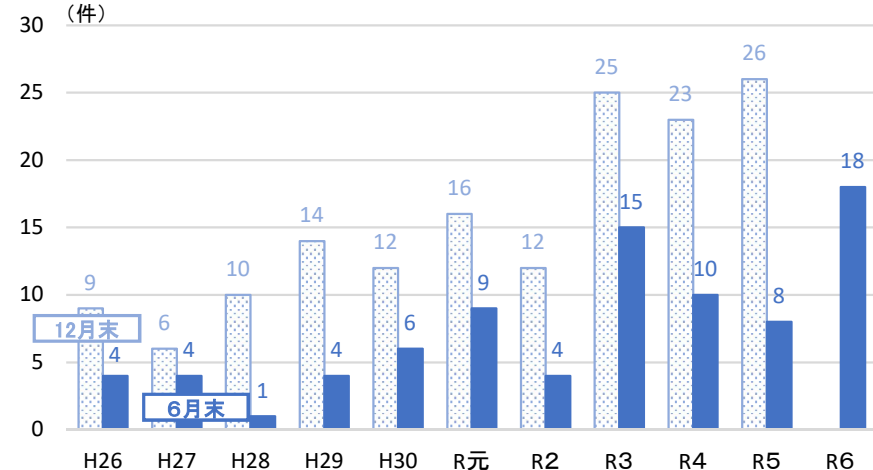


(注)・自転車相互事故は、第1当事者の年齢により区分した。

〈参考〉 相手当事者別飲酒自転車関連 死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】

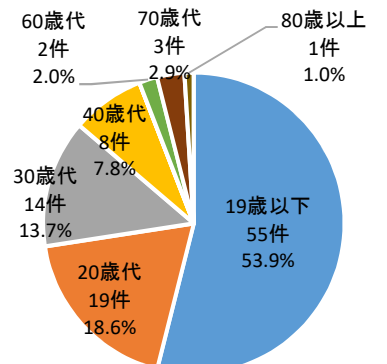


携帯電話等使用自転車関連死亡・重傷事故件数の推移 (第1・第2当事者)

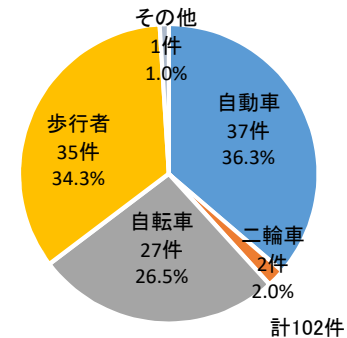


(注)・自転車が第1又は第2当事者となった事故のうち、自転車運転者の携帯電話、スマートフォン等の使用が発生要因となった事故を集計した。

〈参考〉 年齢層別携帯電話等使用 自転車関連死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】



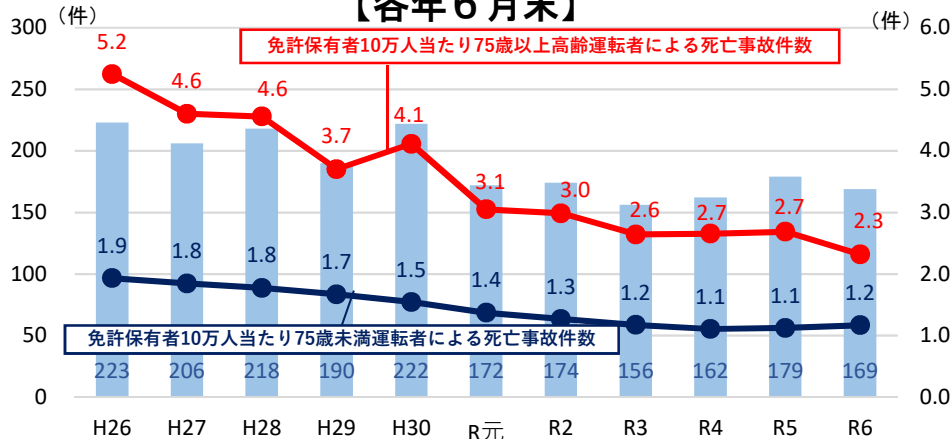
〈参考〉 相手当事者別携帯電話等使用 自転車関連死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】



5 高齢運転者による交通死亡事故の状況

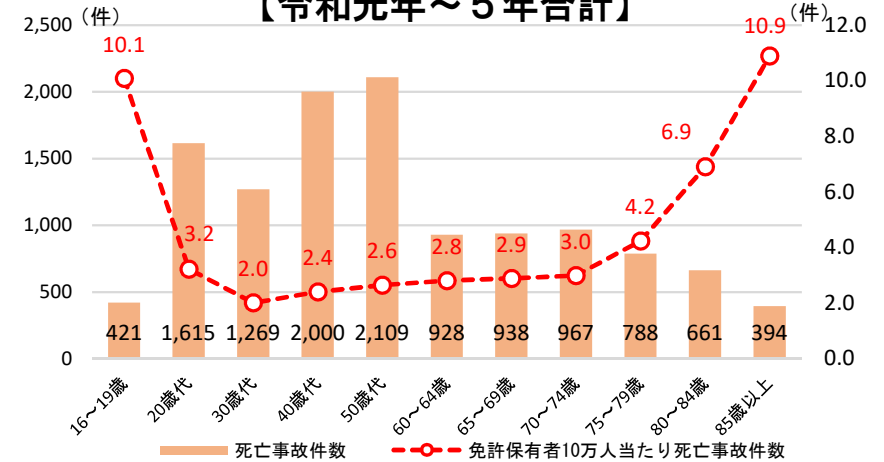
- 75歳以上高齢運転者による死亡事故は減少
- 75歳以上高齢運転者は「操作不適」が多く、ブレーキとアクセルの踏み違いは前年同期比で約2.9倍に増加

75歳以上高齢運転者による死亡事故件数の推移
【各年6月末】



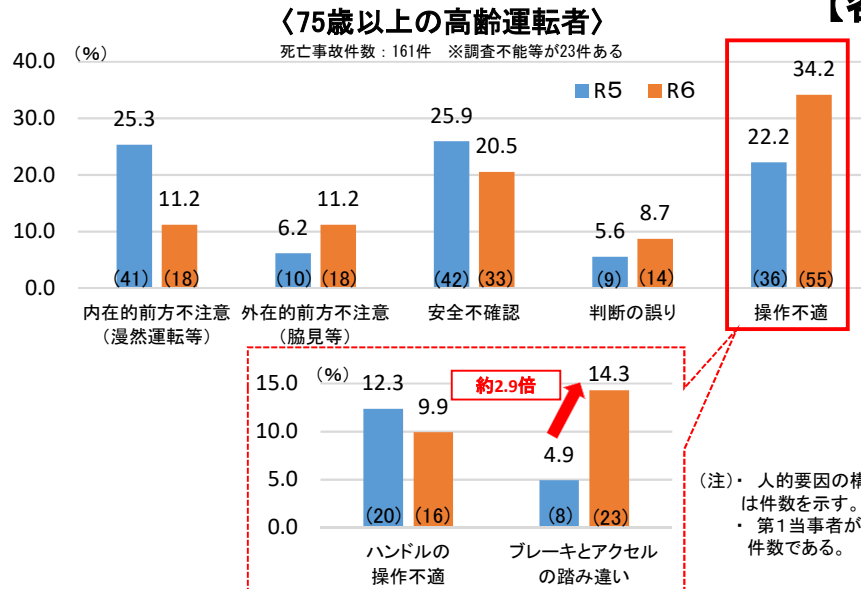
(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。
・算出に用いた免許保有者数は、各前年12月末の値である。

〈参考〉一般原付以上運転者の年齢層別死亡事故件数
【令和元年～5年合計】

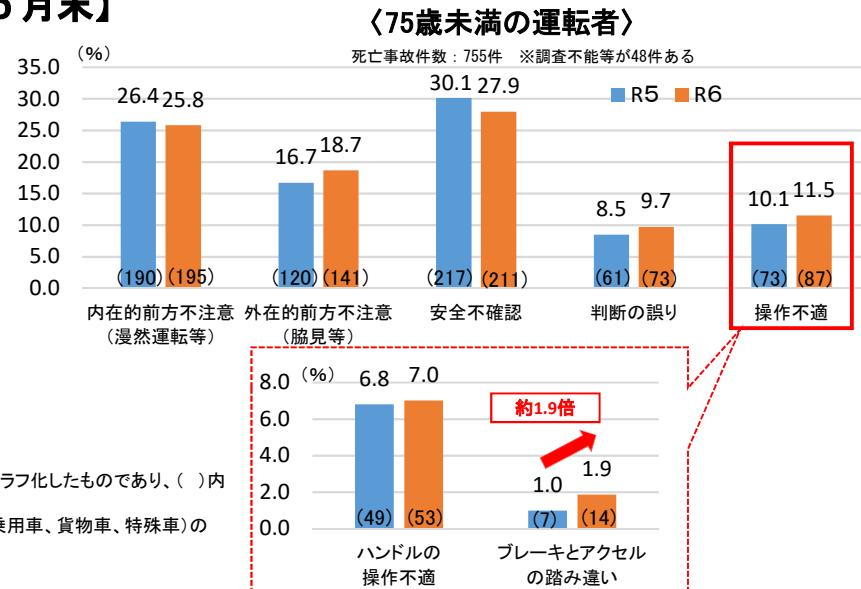


(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
・算出に用いた免許保有者数は、令和元年から令和5年の合計値である。

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較 【各年6月末】



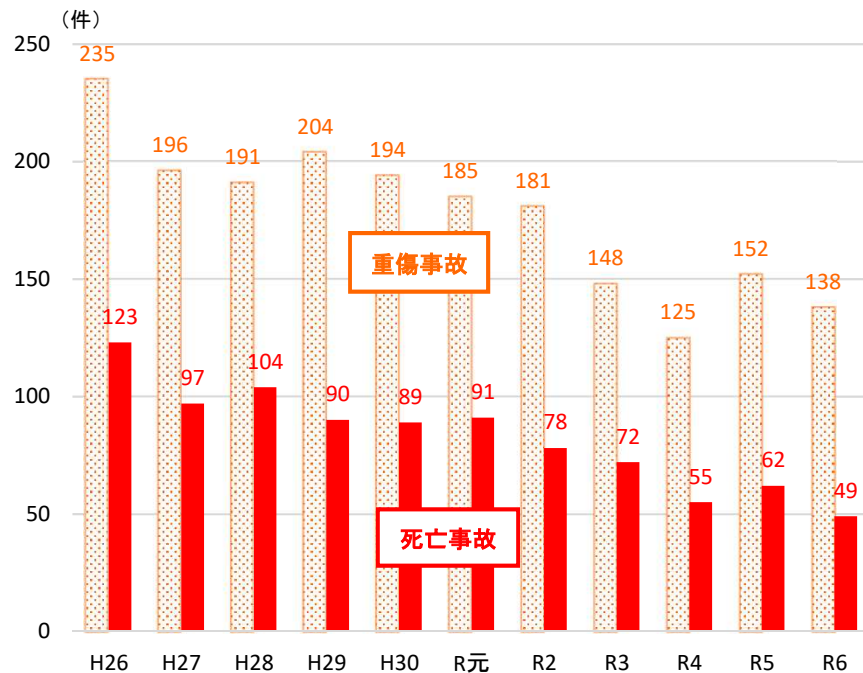
(注)・人的要因の構成率をグラフ化したものであり、()内は件数を示す。
・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。



6 飲酒運転及び携帯電話等使用に関する交通事故の状況

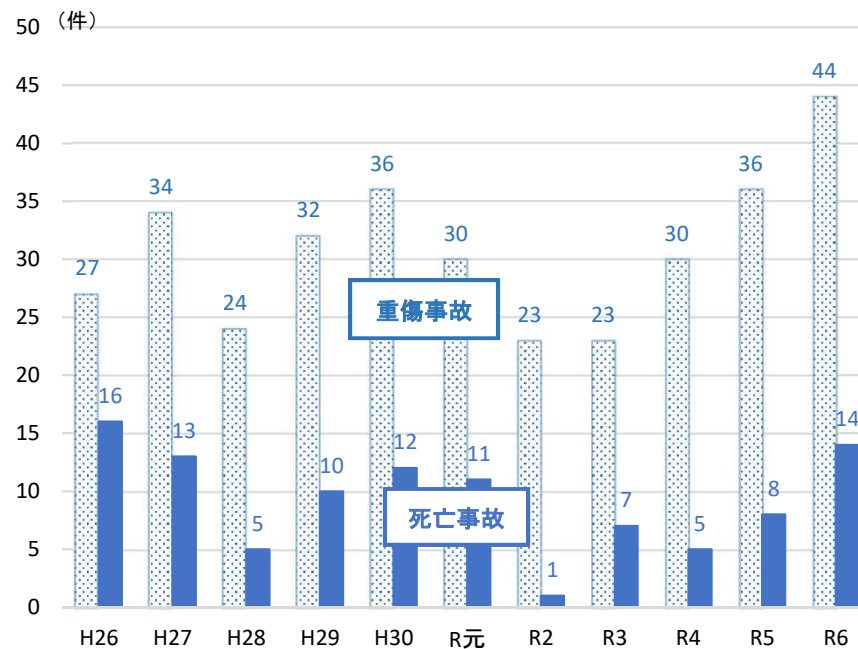
- 飲酒死亡事故は減少傾向にあるが、飲酒重傷事故は、近年はほぼ横ばいで推移
- 携帯電話等使用事故は近年増加傾向

飲酒死亡・重傷事故件数の推移
【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
・「飲酒死亡事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準値以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいう。

携帯電話等使用死亡・重傷事故件数の推移
【各年6月末】



(注)・第1当事者が自動車（乗用車、貨物車、特殊車）の件数である。
・携帯電話・スマートフォン等の使用が要因となって発生した事故を集計した。